

ビジネス総合保険制度 業種別の事故例

補償内容 業種	賠償責任の補償	事業休業の補償	財産の補償 ^{※1}	工事の補償 ^{※1}		
建設業	PL リコール 情報漏えい ^{※1} 施設 業務遂行 受託物	火災 落雷 爆発 食中毒 風災 水災 雪災など 地震 ^{※2}	建物 ^{※2} 屋外設備装置 ^{※2} 設備・什器等 商品・製品等	建設工事 組立工事 土木工事		
製造業	 <p>生産物に関する事故 納入した機械の設計に不具合があり、利用者にケガをさせた。</p>	 <p>水漏れに関する事故 給排水設備からの水漏れにより、生産できず事業を休業した。</p>	 <p>財産に関する事故 工場から火災が発生して納入前の商品が全焼した。</p>	 <p>施設・業務遂行に関する事故 工事現場でクレーンで作業中に、建材が落下、歩行者にケガをさせた。</p>	 <p>火災に関する事故^{※2} 本社建物の火災により、工事受注業務ができず、事業を休業した。</p>	 <p>工事に関する事故 台風による強風で、建設中の建物の屋根が損壊してしまった。</p>
飲食業・宿泊業 ^{※1}	 <p>生産物に関する事故 提供した飲食物でお客様が食中毒となり、下痢・発熱を発症した。</p>	 <p>食中毒に関する事故 食中毒を発生させたことにより、保健所からの指示で店舗を休業した。</p>	 <p>財産に関する事故^{※2} 調理場からの火災により店舗が全焼した。</p>	小売業		
介護事業 ^{※1}	 <p>施設・業務遂行に関する事故 入浴の介助中に、転倒させてケガをさせてしまった。</p>	 <p>火災に関する事故 施設の調理場からの火災により、事業を休業した。</p>	 <p>財産に関する事故 集中豪雨による河川の氾濫で、施設が浸水し、建物^{※2}や設備が汚損した。</p>	 <p>情報漏えいに関する事故 サイバーテロにより、1万人分のお客様情報が流出した。</p>	 <p>水災に関する事故 河川の氾濫で店舗が浸水し、事業を休業した。</p>	 <p>財産に関する事故 閉店中の店舗に何者かが侵入し、金庫内の現金が盗難された。</p>

※1印はあいおいニッセイ同和損害保険株式会社では補償対象外、および取扱いがありません。

※2印は引受保険会社のうち、東京海上日動火災保険株式会社のみラインナップなど、補償内容が引受保険会社で一部異なりますのでご注意ください。

制度運営 日本商工会議所

<http://www.jcci.or.jp/aboutcci.pdf>

お問合せ先 三島商工会議所 TEL:055-975-4441

◎この広告は、本制度の概要を示したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項のご説明」をご覧くださいとともに詳細は引受保険会社の約款、パンフレットに従います。

※上記「総合補償型」とは別に賠償責任リスクに限定した「賠償補償型」(平成28年3月スタート)の保険制度があり、引受保険会社は三井住友海上火災保険株式会社と損害保険ジャパン日本興亜株式会社の2社です。

引受保険会社 (中小企業PL保険等既存制度の取扱件数順)

東京海上日動火災保険株式会社
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

◎この広告は、日本商工会議所が有限会社石垣サービスの協力のもと、作成したものです。